

第90期

2024.10.1 ▶▶ 2025.3.31

MARUYAMA INTERIM REPORT 2025



MARUYAMA

次の100年を創る
-All for the Future-

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援及びご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

このたび、2025年9月期中間期の決算を終了いたしましたので、事業の概況並びに決算の内容についてご報告申し上げます。

2025年6月

代表取締役社長

内山 剛 治



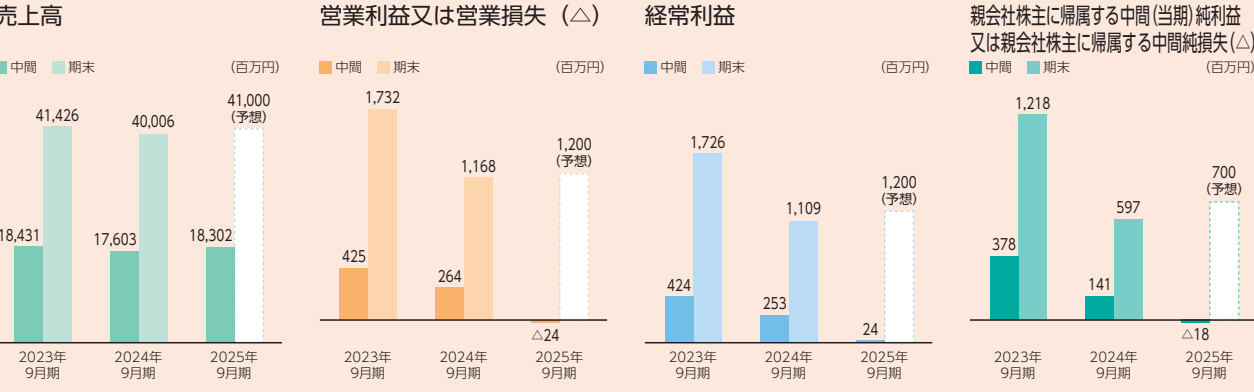
決算ハイライト

売上高 前年同期比 18,302百万円 4.0%増

経常利益 前年同期比 24百万円 90.2%減

営業損失 前年同期比 △24百万円 前年同期は 264百万円の利益

親会社株主に帰属する中間純損失 前年同期比 △18百万円 前年同期は 141百万円の利益



2025年中間連結会計期間における事業の概況

当中間連結会計期間における国内経済は、雇用・所得環境の改善による個人消費の持ち直しやインバウンド需要の拡大に加えて、各種政策の効果もあり、緩やかな景気回復が続いております。一方で、地政学的緊張の長期化による資源・エネルギー価格の高騰、米国による大幅な関税引き上げ、欧州主要国における政治的不安などによる不安定な為替相場の変動や物価上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが主力とする農林業用機械業界におきましては、農業資材費及び原材料費の高騰に伴い、機械の出荷・生産実績が国内・輸出向けともに前中間連結会計期間より減少いたしました。

このような状況の中、当社グループは、国内では創業130周年を記念したキャンペーンを実施し、全国で対象製品を中心に積極的な営業活動を展開してまいりました。また、米卸売価格の高騰を受け農業用機械全般への需要が高まり、主力の動力噴霧機を中心に前年以上に拡販を実施いたしました。ウルトラファインバブル製品についても温水洗浄機やテックシャワー、ウルトラポンプなど多様な製品ラインナップを展開し、農業分野だけでなく、自動車関連、産業関連、飲食関連向けなど、幅広い分野において積極的な販促及び販売活動を継続して実施いたしました。さらに、近年当社が注力しているアフターサービス事業におきましても、サービス協力店の増加とともに、大型防除機を中心に前年以上に多くのお客様の製品の定期点検整備を実施いたしました。また、ハイクリブームやステレオスプレーヤの購入時に付帯する搭乗中傷害保険を積極的にPRし、ステレオスプレーヤの転落・転倒事故防止のための折畳み式防護フレーム装着の安全啓発活動を強化するなど、お客様により安心して製品をご利用いただけるよう、安全対策の強化に取り組んでまいりました。海外では、当社グループの強みである大型防除機などの農林業用機械の販売について、引き続き韓国や台湾での市場の安定確保に努めるとともに、米国市場への導入可能性の調査と、新たな販路開拓に向けた取り組みを進めてまいりました。主力製品である刈払機については、タイ国市場に投入した新機種の販促活動をさらに強化しました。また、アジア市場での新たな販路拡大に向け、ウルトラファインバブル発生ユニットの各種トライアルに加え、フィリピンなどの重点市場の調査を開始しました。

これらの結果、国内におきましては、アグリ流通において大型防除機及び動力噴霧機が増加した結果、国内売上高は14,236百万円(前年同期比9.2%増)となりました。また、海外におきましては、欧州向けの工業用ポンプは増加しましたが、北米向けの工業用ポンプや刈払機が減少したことなどにより、海外売上高は4,066百万円(前年同期比11.0%減)となり、当中間連結会計期間の売上高合計は18,302百万円(前年同期比4.0%増)となりました。

利益面では、売上高は増加しましたが、原材料高騰による原価率の上昇や販売費及び一般管理費の増加などにより、営業損失は24百万円(前年同期は264百万円の営業利益)、経常利益は24百万円(前年同期比90.2%減)となりました。親会社株主に帰属する中間純損失は18百万円(前年同期は141百万円の親会社株主に帰属する中間純利益)となりました。

2025年9月期の見通しについて

通期における国内経済につきましては、総合経済対策の効果が下支えとなっており、賃金上昇が物価上昇を上回り、個人消費が増加するとともに、企業の設備投資も堅調な動きが続くなど、引き続き、民間需要主導の経済成長となることが期待されます。その一方で、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動等の影響が懸念されます。

このような状況の中、当社グループは、国内では産業用機械、ウルトラファインバブル製品を中心とした新製品のリリース、大型機械のアフターマーケット活動を通じ、安心して丸山製品をお使いいただけるよう取り組んでまいります。海外におきましては、強みである大型防除機などの農林業用機械の北米やインド市場への展開や、ウルトラファインバブル製品を中心に新市場での販路拡大を目指し、積極的な拡販活動を継続して推進いたします。

通期の連結業績予想につきましては、現状の原材料高騰や経費の増加などの課題に対する、製商品の値上げやコストダウン、固定費の削減などの対策の効果を見極めていく必要があるため、前回予想(2024年11月14日)を修正しませんが、見直しが必要であると判断した時点で速やかに開示いたします。

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり配当金 (円)
通期業績予想 (2025年9月期)	41,000	1,200	1,200	700	75

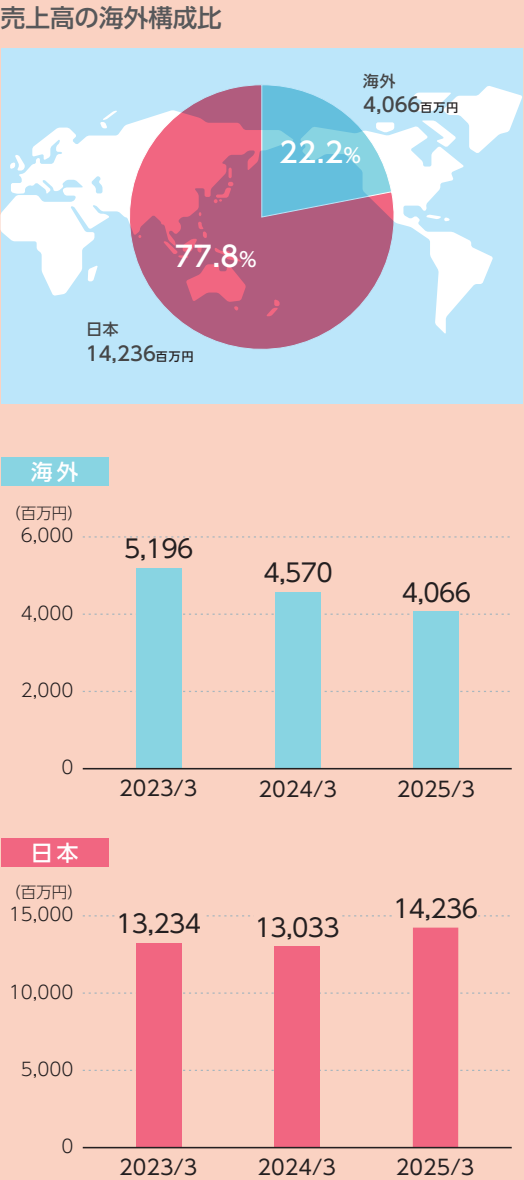
株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

連結セグメント別の概況

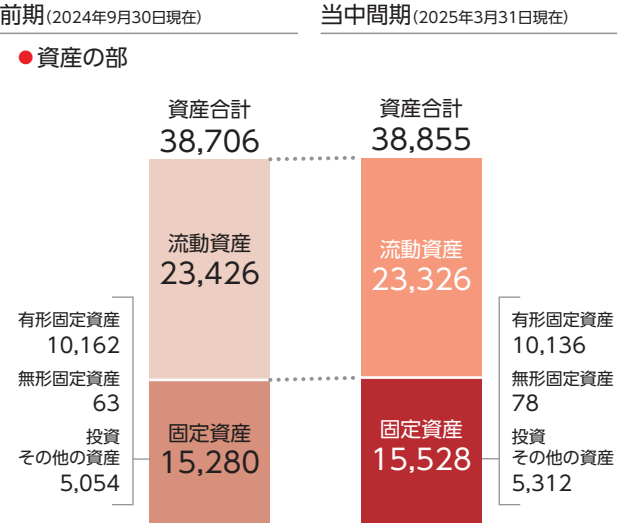
	売上高構成比	売上高・営業利益の推移	取扱商品	業績の概要									
農林業用機械	農林業用機械 76.9% 売上高 14,163百万円	売上高 (百万円) 15,000 売上高 営業利益 (百万円) 1,500 <table><tr><td>2023/3</td><td>13,084</td><td>335</td></tr><tr><td>2024/3</td><td>12,875</td><td>275</td></tr><tr><td>2025/3</td><td>14,163</td><td>216</td></tr></table>	2023/3	13,084	335	2024/3	12,875	275	2025/3	14,163	216	- 動力噴霧機 - 動力散布機 - 高性能防除機 - 刈払機 - チェーンソー - その他 	売上高(前年同期比) 10.0%増 営業利益(前年同期比) 21.5%減 国内におきましてはアグリ流通において大型防除機及び動力噴霧機、ホームセンター流通において刈払機が増加いたしました。また、海外におきましては、北米向けの刈払機が減少したことなどにより、国内外の農林業用機械の売上高合計は14,163百万円(前年同期比10.0%増)、営業利益は216百万円(前年同期比21.5%減)となりました。
2023/3	13,084	335											
2024/3	12,875	275											
2025/3	14,163	216											
工業用機械	工業用機械 14.7% 売上高 2,705百万円	売上高 (百万円) 5,000 売上高 営業利益 (百万円) 1,000 <table><tr><td>2023/3</td><td>3,865</td><td>607</td></tr><tr><td>2024/3</td><td>3,115</td><td>529</td></tr><tr><td>2025/3</td><td>2,705</td><td>423</td></tr></table>	2023/3	3,865	607	2024/3	3,115	529	2025/3	2,705	423	- 工業用高圧ポンプ - 高圧洗浄機 - ウルトラファインバブル製品 	売上高(前年同期比) 13.2%減 営業利益(前年同期比) 20.0%減 工業用ポンプにおきまして、欧州向けは増加しましたが、国内及び北米向けが減少したことなどにより、国内外の工業用機械の売上高合計は2,705百万円(前年同期比13.2%減)、営業利益は423百万円(前年同期比20.0%減)となりました。
2023/3	3,865	607											
2024/3	3,115	529											
2025/3	2,705	423											
その他の機械	その他の機械 7.3% 売上高 1,339百万円	売上高 (百万円) 2,000 売上高 営業利益 (百万円) 150 <table><tr><td>2023/3</td><td>1,386</td><td>109</td></tr><tr><td>2024/3</td><td>1,518</td><td>97</td></tr><tr><td>2025/3</td><td>1,339</td><td>122</td></tr></table>	2023/3	1,386	109	2024/3	1,518	97	2025/3	1,339	122	- 消火器 - 防災関連機器 - その他 	売上高(前年同期比) 11.8%減 営業利益(前年同期比) 26.0%増 消防機械を主なものとする、その他の機械の売上高は1,339百万円(前年同期比11.8%減)、営業利益は122百万円(前年同期比26.0%増)となりました。
2023/3	1,386	109											
2024/3	1,518	97											
2025/3	1,339	122											
不動産賃貸他	不動産賃貸他 1.1% 売上高 210百万円	売上高 (百万円) 300 売上高 営業利益 (百万円) 300 <table><tr><td>2023/3</td><td>236</td><td>137</td></tr><tr><td>2024/3</td><td>210</td><td>119</td></tr><tr><td>2025/3</td><td>210</td><td>130</td></tr></table>	2023/3	236	137	2024/3	210	119	2025/3	210	130	- 不動産賃貸 - 売電事業 	売上高(前年同期比) 0.1%減 営業利益(前年同期比) 8.7%増 不動産賃貸他の売上高は210百万円(前年同期比0.1%減)、営業利益は130百万円(前年同期比8.7%増)となりました。
2023/3	236	137											
2024/3	210	119											
2025/3	210	130											

※セグメント別売上高は、セグメント間取引調整前の金額にて表示しております。

海外の売上高の状況



▶ 連結貸借対照表(要旨)



※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

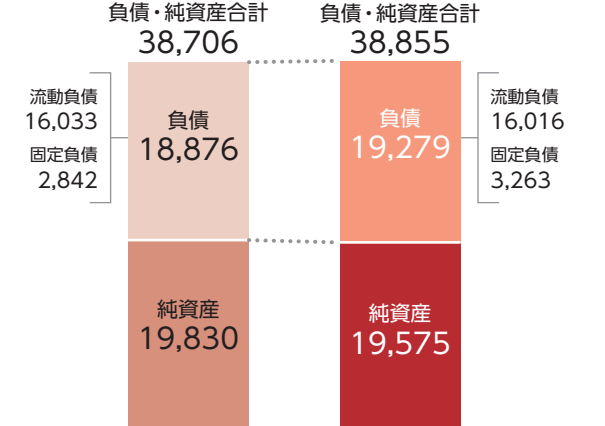
» POINT

資産合計

当中間連結会計期間末における資産総額は38,855百万円となり、前連結会計年度末より148百万円増加いたしました。これは、現金及び預金の減少(1,319百万円)及び電子記録債権の減少(1,583百万円)はありましたが、受取手形、売掛金及び契約資産の増加(1,650百万円)、商品及び製品の増加(1,017百万円)、原材料及び貯蔵品の増加(412百万円)などによるものであります。

(単位:百万円)

● 負債・純資産の部



負債合計

負債総額は19,279百万円となり、前連結会計年度末より403百万円増加いたしました。これは、流動負債その他に含まれる未払金の減少(608百万円)はありましたが、支払手形及び買掛金の増加(548百万円)、短期借入金の増加(982百万円)などによるものであります。

純資産合計

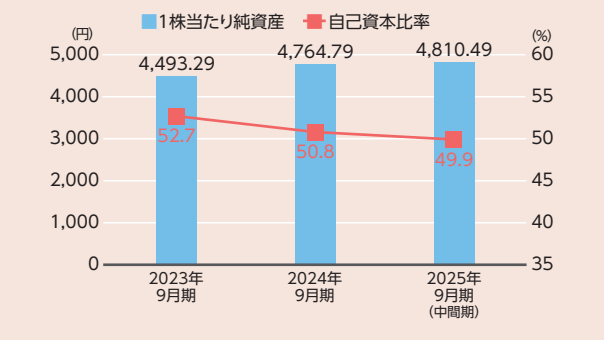
純資産総額は19,575百万円となり、前連結会計年度末より254百万円減少いたしました。これは、配当金の支払いなどによる利益剰余金の減少(328百万円)によるものであります。

▶ 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前期中間期 (2023年10月1日～ 2024年3月31日)	当期中間期 (2024年10月1日～ 2025年3月31日)	前 期 (2023年10月1日～ 2024年9月30日)
売上高	17,603	18,302	40,006
売上原価	12,930	13,689	29,695
売上総利益	4,673	4,613	10,311
販売費及び一般管理費	4,409	4,637	9,143
営業利益又は営業損失(△)	264	△24	1,168
営業外収益	71	140	163
営業外費用	82	91	221
経常利益	253	24	1,109
特別利益	0	0	0
特別損失	2	1	4
税金等調整前 中間(当期)純利益	251	23	1,106
中間(当期)純利益 又は中間純損失(△)	169	△3	654
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益 又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	141	△18	597

● 1株当たり純資産・自己資本比率



▶ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前期中間期 (2023年10月1日～ 2024年3月31日)	当期中間期 (2024年10月1日～ 2025年3月31日)	前 期 (2023年10月1日～ 2024年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	△843	△739	214
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,066	△1,413	△1,454
財務活動による キャッシュ・フロー	1,323	761	1,504
現金及び現金同等物に 係る換算差額	12	32	△6
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△574	△1,359	257
現金及び現金同等物の 期首残高	4,003	4,431	4,003
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	—	—	170
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	3,428	3,072	4,431

» POINT

現金及び現金同等物の中間期末残高

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、短期及び長期借入れによる収入の増加はありましたが、棚卸資産の増加、有形固定資産の取得による支出の増加などにより、当中間連結会計期間末は、前連結会計年度末と比べ1,359百万円減少し、3,072百万円となりました。

前年同期と比べ、営業活動は売上債権の増加はありましたが、棚卸資産の減少などにより、使用した資金が減少しました。投資活動は、有形固定資産の取得による支出の増加などにより、使用した資金が増加しました。財務活動は、短期借入金の純増額の減少などにより、得られた資金が減少しました。

ウルトラファインバブル洗濯機アダプタ「バブリッシュ」を開発



当社は、洗濯機の水栓に取り付けるだけで洗濯をウルトラファインバブル水で行える洗濯機アダプタ「バブリッシュ」を開発いたしました。

■バブリッシュとはー毎日使っている洗濯機を特別なものにー

「バブリッシュ」は、洗濯機の水栓に取り付けることで、洗濯水を丸ごとウルトラファインバブル水にできる製品です。目に見えないほど微細な泡の力で、衣類のみならず洗濯槽や排水ホースまでキレイにし“洗濯力”をブーストします。



■バブリッシュの特長・効果

①洗剤・柔軟剤の効果をブースト

バブリッシュによって生成したウルトラファインバブルに洗剤や柔軟剤の成分が吸着し、繊維の奥深くまで浸透させ、洗剤・柔軟剤の効果をさらに発揮させます。

②給水ホース～洗濯槽～排水ホースまで洗濯機丸ごとキレイに

給水ホースから洗濯槽、排水ホースまでウルトラファインバブル水が通るため、使い続けるほど給水ホースの内側や洗濯槽、排水ホースもきれいになります。

③工具不要、10秒で簡単取り付け

洗濯水栓の規格に対応しているため、水栓を閉め、水栓と給水ホースの間に差し込むだけで簡単に取り付けが可能です。

130周年記念ムービーを公開しました



1895年に創業した丸山製作所は、本年、130周年を迎えることができました。それを記念し、丸山の歴史から現在の取り組み、100年先の未来に向けた姿勢を動画にまとめました。

私たちが130周年を迎えられたのは、皆さまのご支援のおかげです。ともにこの節目をお祝いできることに、心より感謝いたします。

次の100年も、とことん未来に向き合い、勇気を持って挑戦し常に進化し続けてまいります。



130周年記念ムービー



プロサッカークラブ モンテディオ山形とスポンサー契約を締結



当社は、日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）に所属し、山形県をホームタウンとする「モンテディオ山形」とのクラブスポンサー契約を締結いたしました。

■スポンサー契約締結の背景

当社は2019年より、モンテディオ山形の「サプライヤー・パートナー」として、ピッチ散水用のステレオスプレーやスプラッシュシートへの噴霧用の動噴等をご利用いただいております。本年度からはクラブスポンサーとして、2025年シーズンのチームのより一層の活躍を応援してまいります。



■モンテディオ山形について

山形県を拠点とするプロサッカークラブ。チーム名はイタリア語の「MONTE（山）」と、「DIO（神）」を組み合わせた造語で「山の神」を意味しています。山形県の霊峰出羽三山と頂点を目指すチームを表しています。

当社は今後も、皆様に喜ばれるような商品を提供し、経済活動の発展に貢献できるよう取り組んでまいります。



©MONTEDIO YAMAGATA

モンテディオ山形 オフィシャルサイト：
<https://www.montedioyamagata.jp/>
運営会社：株式会社モンテディオ山形
代表取締役社長：相田 健太郎

農業機器ユーザー向けアプリ「丸山コネクト」を無料提供開始



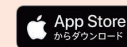
当社は、農業従事者や農家の方々向けに、当社の農業機器をより便利にご利用いただくための専用アプリ「丸山コネクト」を無料で提供開始しました。

当社はDX（デジタルトランスフォーメーション）を通じて、さらなる顧客体験の向上を目指し、新たなビジネスモデルの構築に取り組んでおり、このアプリも、当社のDXへの取り組みの一環として、提供しております。

今回のリリースでは、取扱説明書の閲覧機能を提供いたします。今後もさらに機能を追加提供し、顧客体験の向上をデジタルでもサポートしてまいります。

ダウンロード方法

「丸山コネクト」アプリは、App Store及びGoogle Playで無料でダウンロードいただけます。



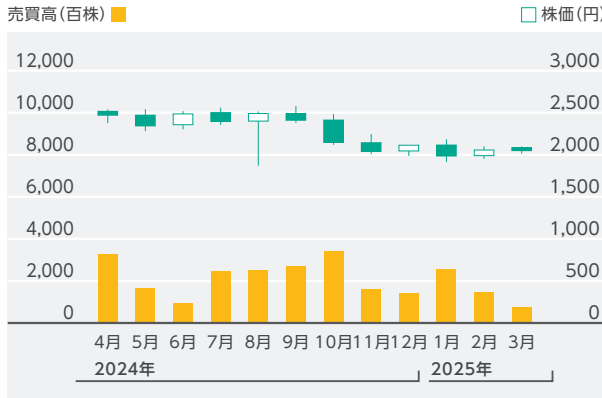
株式の状況

発行可能株式総数	13,906,100株
発行済株式の総数	5,029,332株（自己株式995,856株を含む）
株主数	8,458名
大株主（上位10名）	

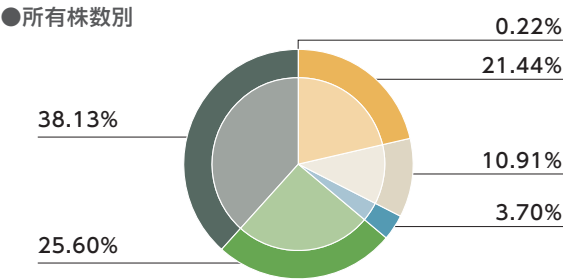
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
丸山製作所取引先持株会	286	7.10
株式会社みずほ銀行	198	4.92
農林中央金庫	194	4.82
丸山製作所従業員持株会	170	4.22
株式会社千葉興業銀行	162	4.03
株式会社クボタ	95	2.37
みずほ信託銀行株式会社	90	2.23
三井住友信託銀行株式会社	73	1.82
株式会社マキタ	70	1.74
明治安田生命保険相互会社	70	1.74

(注) 1. 当社は、自己名義株式(905,456株)を保有しておりますが、上記の表には含めておりません。また、当社は株式給付信託(J-ESOP)を導入しており、本制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E□)が所有する当社株式90,400株を自己株式に含めているため、上記の表には含めておりません。
 2. 持株比率は自己株式(995,856株)を控除して算出しております。

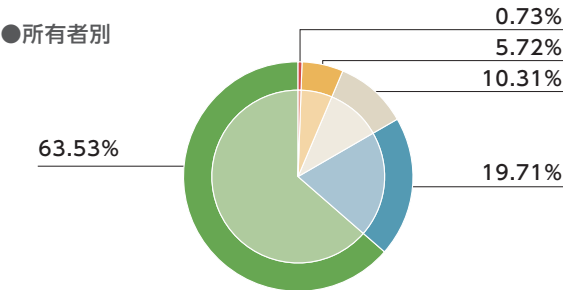
株価及び株式売買高の推移



株式の分布状況



1百株未満	1,085名	10,978株
1百株以上10百株未満	6,975名	1,078,363株
10百株以上50百株未満	328名	548,547株
50百株以上100百株未満	28名	186,310株
100百株以上1,000百株未満	36名	1,287,521株
1,000百株以上	6名	1,917,613株



証券会社	36,793株
外国法人等	287,416株
その他国内法人	518,474株
金融機関	991,479株
個人その他	3,195,170株

会社の概要
（2025年3月31日現在）

商号	株式会社丸山製作所
英文名	MARUYAMA MFG. CO., INC.
設立	1937年11月1日
資本金	46億5,106万円
本社	東京都千代田区内神田三丁目4番15号
主な事業内容	農林業用機械（噴霧機、刈払機ほか）、工業用機械（高圧ポンプほか）、消防機械（消火器ほか）、環境衛生用機械ほかの製造並びに販売 不動産賃貸事業、売電事業
国内関係会社	日本クライス株式会社、マルヤマエクセル株式会社、西部丸山株式会社、丸山物流株式会社、双葉商事株式会社、M-Innovations株式会社
海外関係会社	MARUYAMA U.S.,INC.、MARUYAMA MFG (THAILAND) CO.,LTD.、丸山（上海）貿易有限公司、ASIAN MARUYAMA (THAILAND) CO.,LTD.、MARUYAMA VIETNAM CO.,LTD.、MARUYAMA MFG INDIA Pvt. Ltd.
従業員数	600名
グループ従業員数	990名
工場	千葉工場、東金第二工場、長野工場
事業所	鏡野事業所、福島事業所
営業拠点	北海道、帯広、青森、秋田、岩手、南東北、宮城、福島、新潟、長野、山梨、茨城、北関東、千葉、静岡、名古屋、北陸、大阪、広島、岡山、四国、福岡、熊本、南九州、宮崎

役員の状況
（2025年3月31日現在）

代表取締役会長	尾頭 正伸	
代表取締役社長	内山 剛治	
専務取締役	石村 孝裕	営業本部長兼国内営業本部長
常務取締役	大平 康介	生産本部長兼千葉工場長
常務取締役	高取 亮	管理本部長
取締役	畑野 敬幸	社外取締役 常勤監査等委員
取締役	土岐 敦司	社外取締役 監査等委員
取締役	福地 孝一	社外取締役 監査等委員
取締役	大谷 はるみ	社外取締役 監査等委員

株主メモ

事業年度 10月1日から翌年9月30日まで
利益配当金受領株主確定日 9月30日
基準日 9月30日
その他必要ある場合は予め公告して設定いたします。
定時株主総会 12月
株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
お問合せ先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
郵便物送付先 みずほ信託銀行 証券代行部
TEL 0120-288-324 (フリーダイヤル)
未払配当金の受領 みずほ信託銀行 本店及び全国各支店
みずほ銀行 本店及び全国各支店
単元株式数 100株
公告方法 電子公告
(当社ホームページ) <https://www.maruyama.co.jp/>
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

お知らせ

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、その他各種お手続きにつきましては、株主様が口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
株主名簿管理人のみずほ信託銀行ではお取扱できませんのでご注意ください。
- 未払配当金の受領や支払明細発行、証券会社等に口座がないため特別口座が開設され、その特別口座に記録された株式に関する各種お手続きなどにつきましては、みずほ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。
- 株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等(いわゆる「外字」)が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。
このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。
株主様のご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。
- 株式等の税務関係のお手続きに関しては、マイナンバーのお届出が必要です。お届出が済んでいない株主様は、みずほ信託銀行証券代行部へマイナンバーのお届出をお願いします。

単元未満(1株から99株)株式をお持ちの株主様へ

買取をご請求いただくことで、単元未満株式を売却することができます。
詳細につきましては下記までお問い合わせください。

■ お問い合わせ先

- 証券会社などの口座に記録された株式
口座開設の証券会社などへ
- 特別口座に記録された株式
上記のみずほ信託銀行株式会社へ

■ 買取制度の例 (160株ご所有の場合)



次の100年を創る
-All for the Future-



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



森林管理協議会 (Forest Stewardship Council®) で認証された適切に管理された森林からの原料を含む、FSC®認証紙を使用しています。



環境にやさしい植物油インキを使用して印刷しています。